

## 施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード Ⅲ-2-(2)

政策体系	施策名	文化財・伝統文化の保存と活用	所管部局名	教育庁	長期総合計画(プラン2005)頁	127
	政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	関係部局名	教育庁、企画振興部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	文化財・伝統文化の保存	文化財・伝統文化の活用	文化財・伝統文化の継承	世界遺産をめざした取り組み

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)						
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125		
i	国・県指定文化財数(件)	①	H16	835	900	899	99.9%							
ii	歴史博物館などの入館者数及び訪問講座等受講者数(人/年)	③	H22	97,497	100,000	109,881	109.9%							

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	概ね達成 地域に受け継がれてきた文化財の新たな指定や登録の推進を行ったことにより、目標値を概ね達成した。	達成
ii	達成 歴史博物館・先哲史料館・埋蔵文化財センターにおいて展示内容の充実や広報活動に努めたことにより、目標値を達成した。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①②	・国・県指定文化財の整備66件を通じて、各地の文化拠点となっている文化財の保存を推進することができた。 ・地域の文化財魅力度アップ事業で「文化財の修復現場公開」を12件実施(15,006人参加:H27実績)したことで、文化財の新たな魅力を発信することができた。
③	・豊前神楽保存連合会の組織化を支援し、個々の団体ではなく、連合会制度を用いた神楽の保存継承に着手した。
④	・教育遺産の世界遺産登録に向けた日田市の取り組み(咸宜園・草野家住宅等の整備や日本遺産に関連する各種事業)を支援した。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①②	地域の文化財魅力度アップ事業	36,090	A
③	特別展開催事業	17,814	C

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回大分県文化財保護審議会(H27.12) ・県内の歴史資料館等とのネットワークを構築し、歴史博物館がその中心となることが望まれる。</p>	
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<p>・県指定文化財数が九州第一位を誇るなど、地域に受け継がれてきた文化財の指定や登録を積極的に進めることにより、文化財・伝統文化の保存が図られた。今後も、地域で守り伝えられてきた文化財・伝統文化が将来世代に確実に引き継がれていくよう、指定・登録制度を活用し、適切に保存・管理する体制づくりを推進していく。</p> <p>・修復現場を公開する取り組みなどにより、文化財の新たな魅力を発信し、文化財・伝統文化を活用したまちづくりの推進や観光振興が図られた。今後は、文化財・伝統文化をストーリー化し、広域的に連携して活用する市町村の取り組みを支援するなど、地域活性化につながる新たな観光素材の創出や郷土愛の醸成を図っていく。</p> <p>・歴史博物館、先哲史料館、埋蔵文化財センターにおいて小学校訪問講座等を実施し、次代を担う子どもたちに文化財・伝統文化に対する理解を深める取り組みを推進したことなどにより、文化財・伝統文化の保存・継承に向けた意識の醸成が図られた。今後は、埋蔵文化財センターの移転・開館を機に、歴史博物館、先哲史料館、埋蔵文化財センターの連携を強化するとともに、とくに体験学習の機会を拡充することにより、文化財・伝統文化の継承を図っていく。</p> <p>・近世の教育遺産の世界遺産登録をめざした取り組みによって環境整備が図られたことにより、日田市の「咸宜園」が日本遺産の認定を果たすことができた。今後は、市町村をつなぐ文化・伝統のストーリー化を進めるなど、新たな日本遺産の認定に向けた環境整備を図っていく。</p>